

第4期川崎区区民会議みんなのまちづくり部会進捗状況報告

しんぎてーま 審議テーマ	だい かい ぶ かい だ い けん 第3回みんなのまちづくり部会で出された意見	こんご しんぎほうしん 今後の審議方針
<p>1 ちいき みじか ぼうさいりよく れきし かんきょう 地域で身近な防災力（歴史・環境から学ぶ）</p> <p>(1) さいがいじ あんぜん ひなん 災害時に安全に避難できるようにするため、かわさきく れきし かんきょう してん 川崎区の歴史や環境の視点からぼうさい かんが ひつよう 防災を考える必要がある。</p>	<p>ア 臨海部の災害への対策を知る必要がある (ア) かわさきくみん 川崎区民にとって心配なのが臨海工業地帯だと思ふ。さいがいじ 災害時の火災や有毒ガス、りんかいこうぎょうちたい 原子炉等が怖い。まん 万が一 いちしんさい 震災が起きた時、かわさきし 川崎市はどういうたいさく 対策をしているのか知りたい。</p> <p>イ 防災拠点の仕組みを区民に広く知ってもらう必要がある (ア) ひがしおうぎしま 東扇島がぼうさいきょてん 防災拠点になっているが、かいていとん 海底トンネルがきゅうえんぶつし 水没すると、きょてん 救援物資の拠点としてきのう 機能を果たせなくなるのではないか。 (イ) ひがしおうぎしま 東扇島にへりこぶたー ヘリコプターでぶつし 物資を降ろし、ふね 船で持ってくるくんれん 訓練をじっさい 実際にやっていた。じょうほう そういった情報がくみん 区民の皆さんにまだつた 伝わっていない。</p> <p>ウ 誰でも見やすいハザードマップを作成する必要がある (ア) はざーどまっぷ があるが、いろ 色分けが大変わかりづらい。たいしょうてき 対照的な色で書いてくれないとわ 分かりづらい。</p> <p>エ 誰でもすぐに現在位置と避難場所がわかる仕組みが必要である (ア) がいこくじん 外国人とか、さいきんかわさきし 最近川崎市に移住してきた人は、ひなんじょ 避難所になっているがっこうめい 学校名だけだてもわからぬ。たど 例え、ちやうないかい 町内会のけいじばん 掲示板にちず 地図を貼る、げんざい 現在位置を示す必要がある。 (イ) ひなんじ 避難時にどこに何があつた があるのかわかる仕組みが必要である。いま 今は、すまほ スマホとかパソコンをこじん 個人が1台持つじだい 時代なので、ここを見れば、どこに行けばわかるようなじょうほう 情報提供もしてもらいたい。</p> <p>オ 区民会議では、「自助」「共助」による対応方法を議論する必要がある (ア) われわれ 我々が、ぎろん 議論しなくてはならないのは、じじよ 自助「共助」の方だと思ふ。たとえばじしゅぼうさいそしき 自主防災組織のDVDをかくちょうかい 各町会にくば 配って、みんな 皆の目にふ 触れるようにする必要がある。</p> <p>カ 学校や地域との連携を強くする必要がある (ア) がっこう 学校のがっこう 校門とちやうかい 屋上が1つのかぎ 鍵でひら 開くと、またちやうかい 町会のやくいん 役員さんがかぎ 鍵を持っていてなにかあつた 何かあった時にあ 開けられるようになっている。ちやうかい 地域の人がかぎ 鍵を管理しないとさいがい 災害が起きた時にあ 間にあ 合わない。</p>	<p>① りんかいぶ 臨海部のさいがい 災害対策にかか かわさきく 川崎区にじょうほうしゅうしゅう 関係する情報をあつた 集めるため、ひがしおうぎしま 東扇島のぼうさいきょてん 防災拠点施設のしきさつ 視察及びりんかいぶこうぎょうちたい 臨海部工業地帯をしじゅんしせん 市巡視船によりしきさつ 視察を行う。</p>
<p>2 こみゆにていばす どうにゆう 促進 (観光と福祉の向上)</p> <p>(1) だれ 誰もがく 区内をあんぜん 安全にあんしん 安心していどう 移動できるようにするため、ふくし 福祉やかんこう 観光の視点を入れたこみゆにていばす どうにゆうほうほう 促進方法をけんとう 検討する必要がある。</p>	<p>だい きくみんかいぎ おこな 第3期区民会議が行った「こみゆにていばす」に関するかん あんけーと しゅうけいけつか もと 集計結果を基に、ちやうさしんぎ 調査審議していく。</p>	